

学校体育研究同志会兵庫支部主催 第123回 支部研究会 In淡路島

子どもとともに創る、子どもに合ったスポーツ・行事づくり

コロナ禍のもと、新しい生活様式・学習様式が施行されてから早や1年が経とうとしています。子どもたちが楽しみにしていた学校行事はその姿を変え、業務改善という名目のもと、規模の縮小が進んでいる学校も多いということを耳にします。こういった合理化の先に子どもたちの真の主体性はあるのでしょうか。遠回りや回り道をしながら、子どもたちが探究的に取り組んでいくことの価値が薄れていっているように感じます。

本研究会では、日本福祉大学の宮ともこ氏をお招きし、特別支援学校での経験をもとに「子どもたちとともに創る授業のあり方」について講演して頂きます。「ポッチャ」などのスポーツを例として「プレーヤーズファーストの精神」「特別支援学校の子どもたちにあった教材づくり」の大切さについて議論していく中で、「インクルーシブ教育の目的、真のあり方」に迫っていきたいと考えています。

実践報告では、コロナ禍で一旦は中止となった運動会を子どもたちとともに創っていった「行事づくり」について報告します。行事を企画、運営していく中で、「子どもたちが獲得した意思表明権」や「教職員のパラダイムの転換」について議論していきたいと考えています。

どなたにも開かれた研究集会です。ぜひ、職場のお仲間をさそって気軽にご参加ください。

今回は、現地とzoomを繋いでハイブリット形式での研究会を行います。zoomでの参加を希望される方は下記問い合わせ先(小山)までメールか電話で申し込みをしてください。当日までにzoomのURLをお送りいたします。

【日時】 2021年7月10日(土)

12時30分受付 12時50分開始 17時00分閉会

【場所】 兵庫県淡路市 大町会館(兵庫県淡路市大町上485-1)

※公民館横に無料の駐車場があります

※神戸淡路鳴門自動車道「津名一宮インター」から5分

【日程】

12:50~ 開会 挨拶

13:00~ 講演 宮ともこ氏(日本福祉大学スポーツ科学部准教授)

「今、インクルーシブ教育を問う」

～スポーツをあてはめるのではなく、子どもたちに合ったスポーツを～

15:00~ 実践報告 岨賢二(南あわじ市立松帆小学校教諭)

「コロナ禍で子どもたちとともに創っていった運動会」

【参加費】 500円

【申込み・問い合わせ先】

神戸大学附属特別支援学校 小山 紗知(おやま さち)

携帯番号 080-1653-8716

メールアドレス oymsacchin315@yahoo.co.jp

